

# 精神障がい者の医療と福祉はだれのものか

## —措置入院の制度改革について考える—

日時: 2017年3月6日(月)

午後6時～午後9時(開場5時30分)

参加費無料  
申込不要

場所: 日比谷図書文化館大ホール (千代田区日比谷公園1番4号)

2016年7月26日

神奈川県相模原市にある障害者支援施設「津久井やまゆり園」で起きた、元職員による入所者殺傷事件。

この事件を受けて、措置入院制度の改革が進められようとしています。

しかし、そもそも、彼の犯行は精神疾患によるものなのか。今回のような事件を防止するために必要なのは、措置入院制度改革なのか。精神医療はどうあるべきか。精神障がいのある人にとって必要な支援とは何か。

今回のシンポジウムでは、現在進められている制度改革について医療・法律・メディア、それぞれ立場からのご意見をいただきます。

精神障がいのある方に対する医療と福祉・支援について、皆さんで考える機会としたいと思います。

■当日は、手話、全文筆記による情報保障を予定しています。配布資料のテキストデータを事前に提供できますので、ご連絡ください。

■会場の準備の都合上、配慮が必要な方(手話、全文筆記、車いす利用等)は事前に下記までご連絡いただけますと幸いです。

■QRコードを読み取ると下記のEメールアドレスにアクセスします。



QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

※当連合会では、本シンポジウムの内容を記録し、また、成果普及に利用するため、会場での写真・映像撮影及び録音を行っております。撮影した写真・映像及び録音した内容は、当連合会の会員向けの書籍のほか、当連合会のホームページ、パンフレット、一般向けの書籍等にも使用させていただきます。また、報道機関による取材が行われる場合、撮影された映像・画像はテレビ、新聞等の各種媒体において利用されることがあります。撮影をされたくない方は、当日、担当者にお申し出ください。

**【プログラム】**

- 1 検討チームの提示した制度改革について
- 2 基調講演  
松本 俊彦 氏  
(国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部部長/相模原市の障害者支援施設における事件の検証及び再発防止策検討チームメンバー)
- 3 基調講演  
内田 博文 氏 (神戸学院大学法学部教授)
- 4 パネルディスカッション「精神医療の役割とは」  
原 昌平 氏 (読売新聞大阪本社・編集委員)  
松本 俊彦 氏  
内田 博文 氏  
姜 文江弁護士 (日弁連高齢者・障害者権利支援センター委員)



●地下鉄丸の内線・日比谷線 霞ヶ関駅(B2出口)から徒歩3分  
●地下鉄千代田線 霞ヶ関駅(C4出口)から徒歩3分